

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号  
TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311  
e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

## 宮中雲子会長が晴れの『日本童謡賞』を受賞

### 日本童謡協会が童謡曲集『夢を描いて』を評価



日本のお手玉の会の宮中雲子会長は、この 7 月 1 日、日本童謡協会から『日本童謡賞』を受賞しました。(写真左)

これは、昨年 8 月、「宮中雲子の詩による童謡曲集」として出版した『夢を描いて』が評価されたものです。

『日本童謡賞』は、一般社団法人日本童謡協会が、こどもの歌の振興を図るために制定したもので、今回は第 46 回となります。

贈呈理由として、同協会では次のように言っています。

「『夢を描いて』宮中雲子の詩による童謡曲集は全 55 曲から成っています。

55 曲はいずれも、宮中雲子氏の優しく温かい眼差しで綴る童謡詩への“想い”を深く汲み取って作曲されています。また、これら 55 曲は、宮中雲子氏の 1960 年代より 2014 年までの童謡詩によるものであり、長年にわたる氏の童謡詩創作の“歩み”を知ることが出来ます。

55 曲の多くはすでに一般に知られておりますが、とりわけ『ちいさいちいさいやどかりさん』『かあさんのお話の中のわたし』『ひとりじゃないからの子守唄』『春の潮だまり』は多くの人々に愛唱されています。

童謡曲集の題名にある『夢を描いて』は、こどもたちへ“生きる力”を強く望む宮中雲子氏のメッセージであり、全国歌唱コンクールのテーマ曲『夢をえがいて』（湯山 昭作曲）として発表されました。

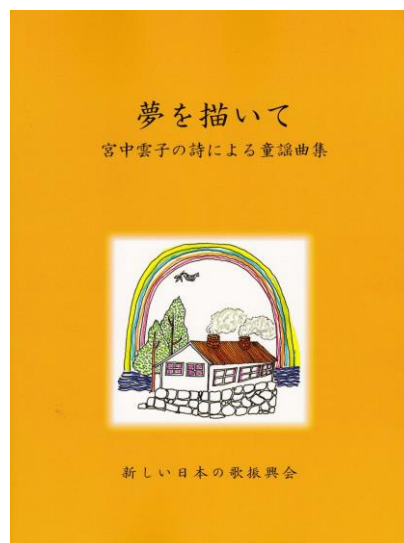
真にこどもたちに伝えたい優れた童謡曲集であると高く評価し、第 46 回日本童謡賞を贈呈する。」（日本童謡賞審査委員会委員 甲賀一宏氏）

素晴らしい作曲家の方々に恵まれて童謡曲集を編むことができた

『夢を描いて』の出版にあたって、宮中会長は次のように言っています。

「サトウハチロー主宰の『木曜手帖』（1957 年創刊）に詩を発表し始めて以来、素晴らしい作曲家の方々に恵まれ、初めての童謡曲集を編むことができました。ここに「宮中雲子の詩による童謡曲集『夢を描いて』をお届けさせていただきます。歌っていただければ幸せに存じます。」

\* 『夢を描いて』については、『たまちゃん通信』（27 年 9 月発行）No. 69 をご参照ください。



「ぬくもりを届けたい、手から心へ」.....

# たまちゃん通信

平成 28 年 7 月発行 79-2

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号  
TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311  
e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

## 写真絵本『お手玉』が人気で24刷目に

### 小学「国語」やテレビ・新聞での紹介のお陰で

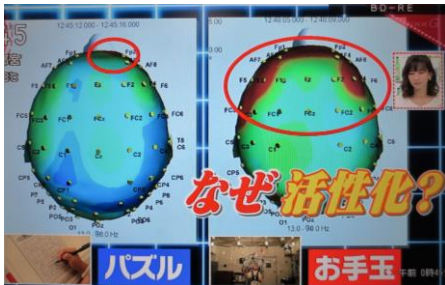
日本のお手玉の会：監修、大西伝一郎：文、文溪堂：出版の写真絵本『お手玉』が、この7月に24刷目となりました。

#### 小学「国語(三)」の上で『お手玉』を紹介

平成9年に初版を発行して以来、順調に伸びていましたが、ここに来て、小学校3年生の「国語」の教科書(光村図書)の「こまを楽しむ」の章に、「この本を、読もう」の見出しで、「むかしからつたわる遊びについて書かれた本です」として、写真絵本『お手玉』が紹介されました。

#### NHKテレビでお手玉の効用を科学的に

さらに、NHKテレビでは、「ためしてガッテンで「認知



(NHKテレビ「あさイチ」の画面から)

症&受験に勝つ! 脳フル回転する昔遊び」として取り上げ、「あさイチ」では「すごいぞ! お手玉!」のタイトルで「お手玉の効用」が、科学的な事実に基づいて紹介されました。

#### 「朝日新聞」も「お手玉遊び」を取り上げた

また、朝日新聞では、「Reライフ」(人生充実)ページで、



(小学「国語」の表紙と本文)

1頁全面を使って、「童心に戻り心も弾む」「お手玉を楽しむ」の企画で、「お手玉の段位」「病院で活用」「脳への効果」「つくる楽しみ」などの面から、詳しく「お手玉の魅力」が取り上げられました。

このように、各方面から「お手玉の効用」が紹介されたお陰で、全国的に「お手玉遊び」への関心が高まり、写真絵本『お手玉』が注目され、増刷の頻度も高くなっています。

写真絵本『お手玉』は、1,500円+税です。日本のお手玉の会でも取り扱っていますので、ご希望の方はご連絡ください。もちろん、お近くの本屋さんで、お求めになることができます。

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」.....

# たまちゃん通信

平成 28 年 7 月発行 79-3

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

## 熊本市の小学校へ『支援のお手玉』を贈る

### 『支援のお手玉教室』にも協力をいただきたい

平成 28 年 4 月 14 日に発生した熊本地震における災害で被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

この熊本地震に関しまして、日本のお手玉の会の各支部や、多くの会員から、「何か支援をしたいのですが」「お手玉の会として支援の取組が決まったら教えてください。協力したい」などのご意見がたくさん本部に寄せられています。

このことについて、日本のお手玉の会の副会長で鹿児島お手玉の会会長の山本清洋様(熊本県ご出身)に、現地の状況や日本のお手玉の会としてできる支援についての調査をお願いしました。



その結果、山本清洋副会長から、次のような提案がありました。

熊本市の教育委員会が、市内の小学校に希望を尋ねたところ、95の小学校のうち、40校から『支援のお手玉』と、14の小学校から『支援のお手玉教室』の要請があったとのこと。

そこで、『支援のお手玉』は、要請のあった40校に200個ずつのお手玉を送ることとし、日本のお手玉の会の45の支部に対して、無理のない範囲で、

できれば200個ずつのお手玉の提供いただくよう、お願いをしました。

また、『支援のお手玉教室』につきましては、鹿児島お手玉の会(山本清洋会長)と、熊本おじゃめの会(荒木千鶴子会長)を中心に、対応することとしました。

『支援のお手玉』につきましては、日本のお手玉の会に限らず、ご提供くださる方がおられましたら、どなたでも、日本のお手玉の会の本部にご一報いただきますよう、お願いいたします。

また、『支援のお手玉教室』にご協力をいただける方がおられましたら、同様に日本のお手玉の会本部にご連絡いただければ、教室開催の日程、小学校名などをお知らせします。多くの方にご協力をお願いします。

【問い合わせ】日本のお手玉の会 ☎0897-32-0302 📠0897-32-0311

(上の写真は、熊本県上益城郡益城町の家屋崩壊現場：「カルチュラル・ニュース」から)



# たまちゃん通信

平成 28 年 7 月発行 79-4

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号  
TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311  
e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

## 熊本を訪ね『お手玉と歌』で心を癒す

### 奈良市の音楽療法士・荒井敦子さんが呼びかけ



奈良市のNPO法人音楽の森の理事長で音楽療法士の荒井敦子さん(声楽家・日本のお手玉の会新居浜支部顧問)が、熊本地震で被災した人たちに、心のケアに役立ててもらおうと、お手玉を贈る計画をすすめています。

音楽の森のメンバーや日本のお手玉の会ならお手玉の会「たまゆら」の会員も協力して、お手玉を作りながら、新聞やテレビなどで広く協力を呼びかけたところ、2か月足らずで4,000個のお手玉の提供がありました。(写真は「読売新聞の記事」)

荒井さんは、これらのお手玉を持って、コーラスを指導して

いるメンバーとともに被災地を訪ね、いまなお避難生活をしている人たちの「心のケアのお役に立ちたい」と、次のように話しています。

中原和彦先生や熊本支部のご協力を得ながら

「熊本地震から3か月がたっても、いまだにたくさんの被災者が避難生活を余儀なくされています。こうした中で高齢者の一部に認知症の症状が出始めたり、慣れない共同生活でストレスが蓄積するなど、心のケアの必要性が認められるようになってきました。

私たちは、平成7年の阪神大震災でも、お手玉を募集して3,300個を被災地に贈って喜ばれました。

そこで、熊本では「あんたがたどこさ」や「島原の子守唄」など、たくさんのわらべ歌が歌い継がれてきています。また、お手玉を取り入れた治療をしておられる『ヘルスアートクリニックくまもと』院長で心療内科医の中原和彦先生がいらっしゃいます。

中原先生(日本のお手玉の会顧問)にご指導をいただきながら、日本のお手玉の会の熊本おじゃめの会(荒木千鶴子会長)のお力もお借りして、訪問先を決めたいと考えています」

最初の訪問先は益城町総合体育館に決まる

新しい情報ですが、被災地訪問の日程を8月18日(木)、19日(金)と決めたところ、荒木会長が被災地と交渉に当たった結果、18日は、日本のお手玉の会の第11回全国お手玉遊び大会の会場だった、益城町総合体育館を訪ねることが決まりました。